

同志社大学

2010年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2011年3月9日提出

所 属	職 名	氏 名
グローバル・スタディーズ研究科	教授	中西久枝
研 究 題 目	中東における紛争尾節の学際的研究の構築	
研 究 成 果 の 概 要	<p>表記の研究課題は、科研で進行している研究課題であり、8名の研究分担者とともに研究をしている。その中で私の担当は、中東の紛争防止の柱となっている、①地域的安全保障体制などの枠組みの可能性、②パレスチナ、アフガニスタンの紛争後（紛争中）の復興開発、③湾岸の地域的安定、④イランの核開発問題のうち、主として、②と④に関する課題についての研究動向を行うこと、及びその概要を把握することである。今年度は、米国カリフォルニア大学の図書館にて、この2点に関する資料収集を行い、その分析を行った。また、科研に関わる調査のための協力を在郷のイラン大使館の研究教育担当者と打ち合わせ、研究者の交流や国際会議の開催についての打ち合わせを行った。具体的には、モッタキ元外務大臣、ファトゥラーヒー外務次官などに東京でインタビューすることができ、イランの核政策についての基本方針を知ることができた。その研究成果の一端は、2011年6月上旬に発行予定の「中東研究」（中東調査会出版）に「イランと米国関係―核問題と民主化」（仮題）という論文として公表する。また、今年度は、ディアスポラ・ポリティクス」（宮地美恵子編）という著書の中でアメリカのイラン人コミュニティに関する論文を出版した。</p>	